

令和7(2025)年度みよし市行政評価市民アンケート結果

1 アンケート調査の実施概要

(1) 目的

第2次みよし市総合計画(以下「総合計画」という。)に掲げた 18 の取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する満足度と重要度について市民の皆さまの考えをお聞きし、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和8(2026)年1月5日(月)から令和8(2026)年2月9日(月)まで

(3) 調査対象者

令和7(2025)年10月31日を基準日とし、本市に住民登録されている18歳以上の市民から2,000人 を無作為に抽出しました。

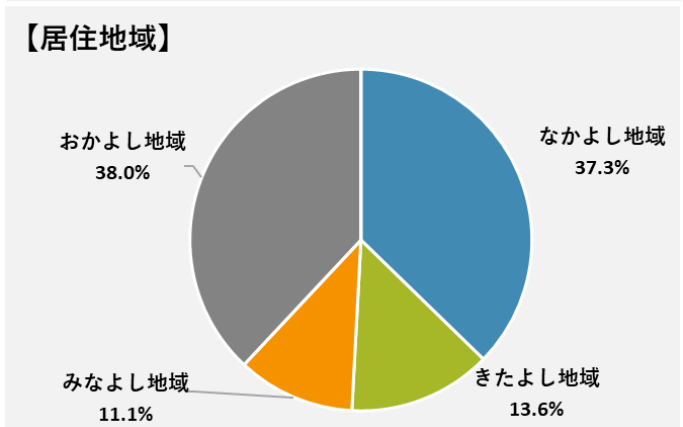
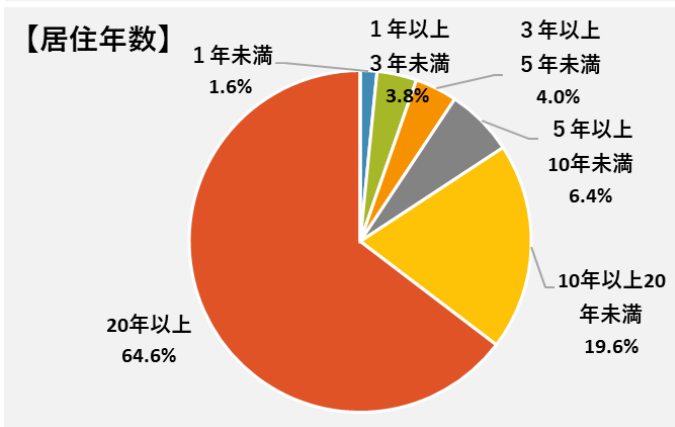
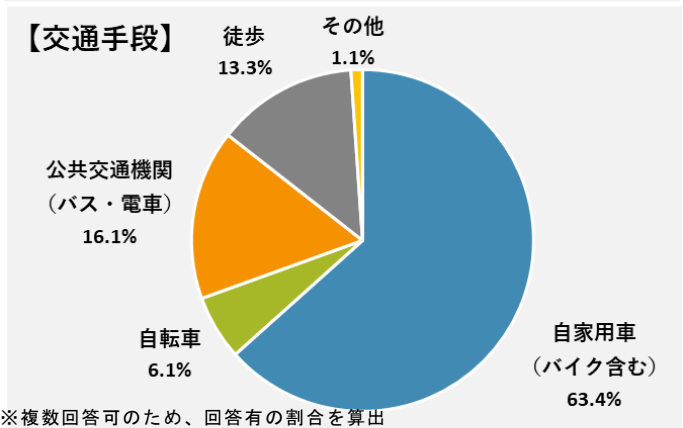
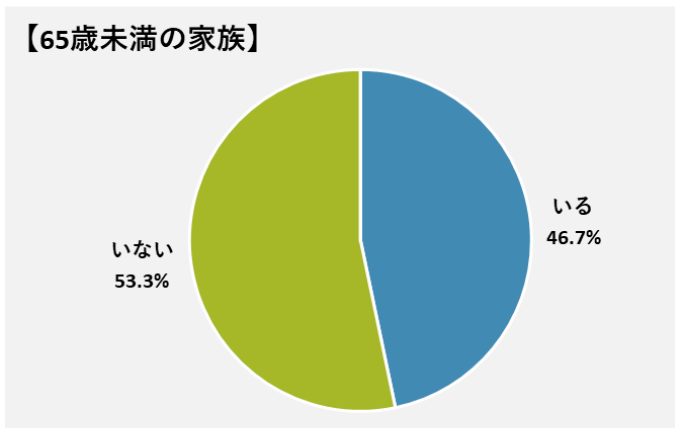
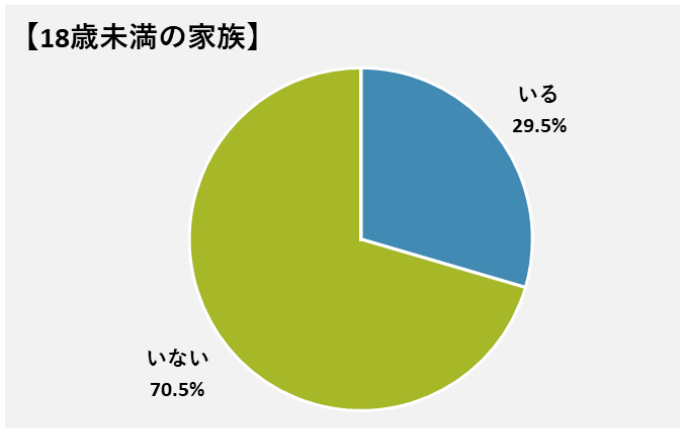
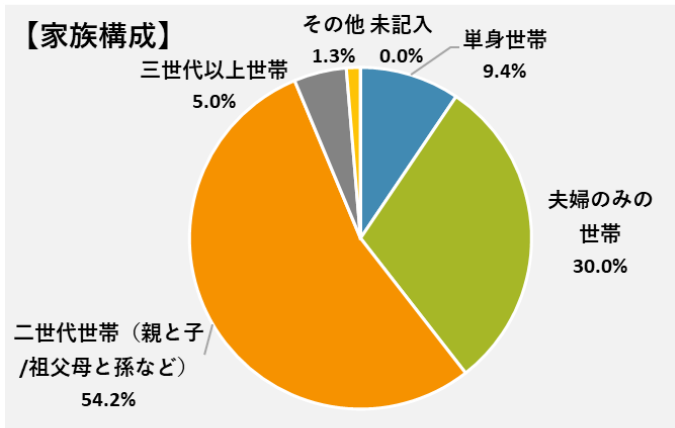
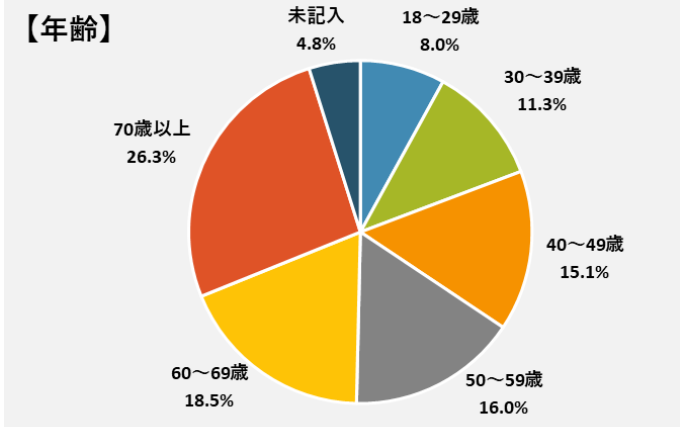
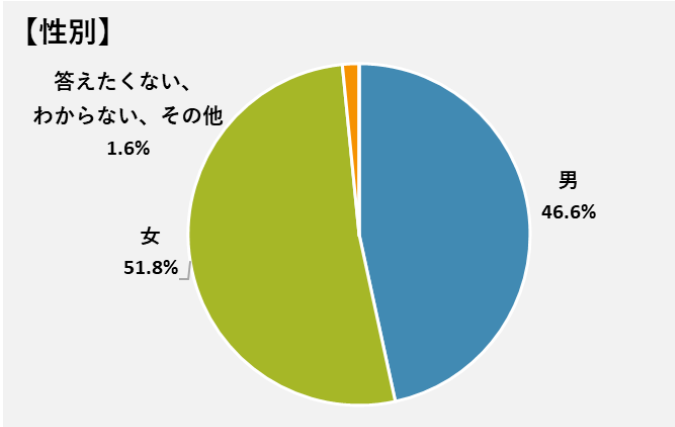
(4) 調査方法

郵送配布(回収は、郵送、直接、インターネット)

(5) 回答結果・回答属性

アンケートは826人(インターネット回答380人)から回答をいただきました。詳細は、以下のとおりです。

区分	11月1日時点 人口(人)	配布対象者 (A)(人)	(A)の構成比	回答数 (B)(人)	(B)の構成比	回答率 (B/A)
総計	50,922	2,000	-	826	-	41.3%
性別	男性	26,016	1,031	385	44.3%	37.3%
	女性	24,906	969	428	51.8%	44.2%
	答えたくない わからない その他	-	-	13	1.6%	-
	未記入	-	-	0	0.0%	-
年齢	18~29歳	9,100	304	66	8.0%	21.7%
	30~39歳	7,364	299	93	11.3%	31.1%
	40~49歳	8,115	336	125	15.1%	37.2%
	50~59歳	10,507	404	132	16.0%	32.7%
	60~69歳	6,517	286	153	15.2%	53.5%
	70歳以上	9,319	371	217	26.3%	58.5%
未記入	-	-	-	40	4.8%	-
居住地	なかよし	23,718	775	308	37.3%	39.7%
	きたよし	8,784	273	112	13.6%	41.0%
	みなよし	6,363	198	92	11.1%	46.5%
	おかよし	22,433	754	314	38.0%	41.6%
	未記入	-	-	-	0	0.0%



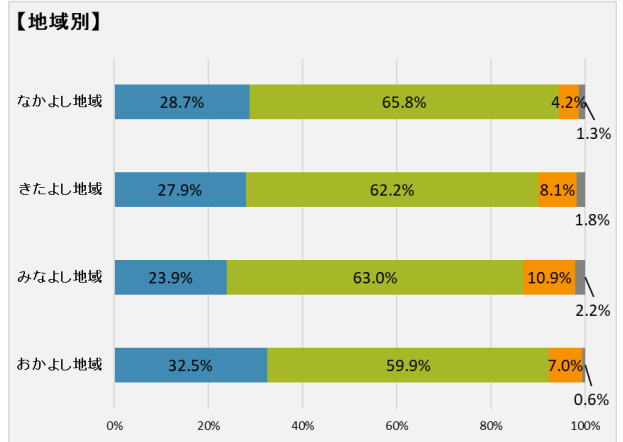
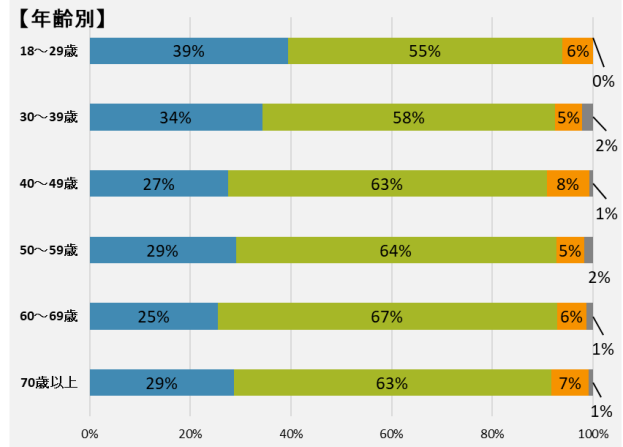
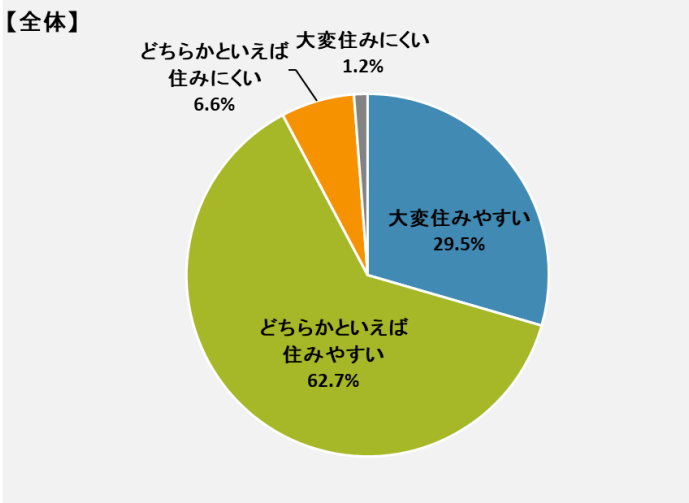
(6) 今後の活用方法

本アンケートを行政評価(施策評価・事務事業評価)における、令和7(2025)年度の実績として活用するとともに、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

2 アンケート調査結果

(1) 住みやすさについて

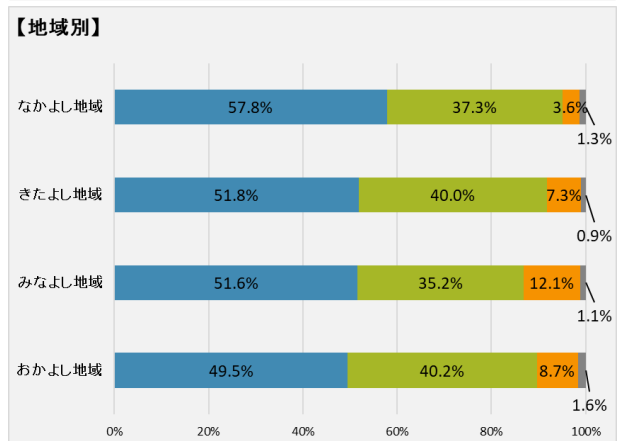
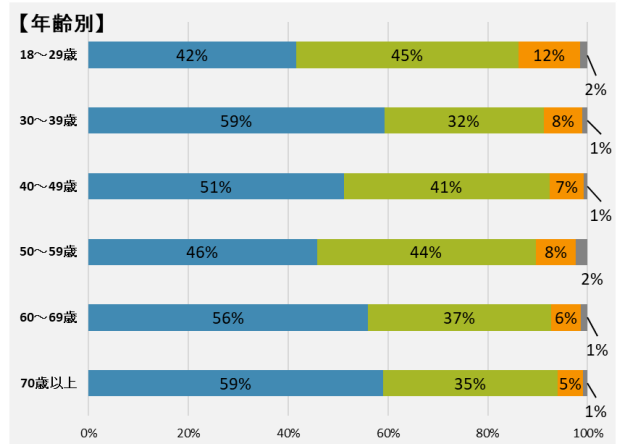
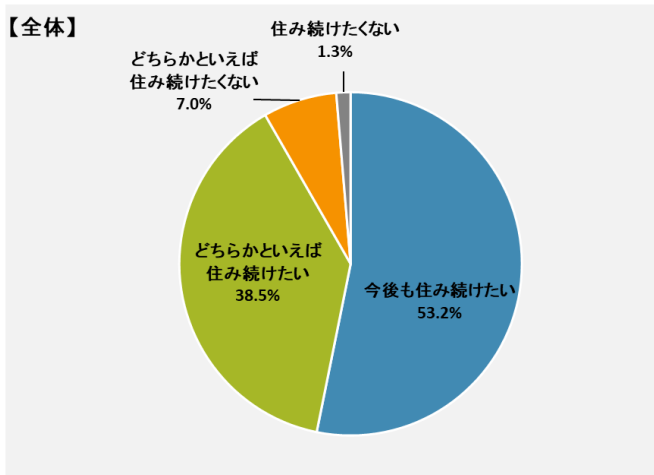
回答数 824



全体では「どちらかといえば住みやすい」が62.7%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が29.5%と、約9割の人が“住みやすい”と評価しています。

(2) 住み続けたいかについて

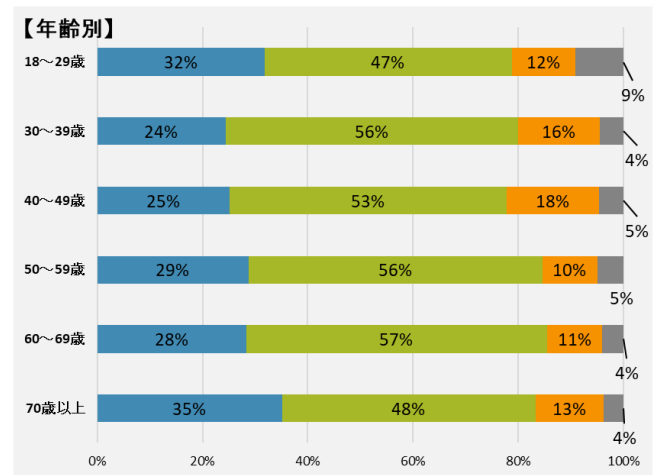
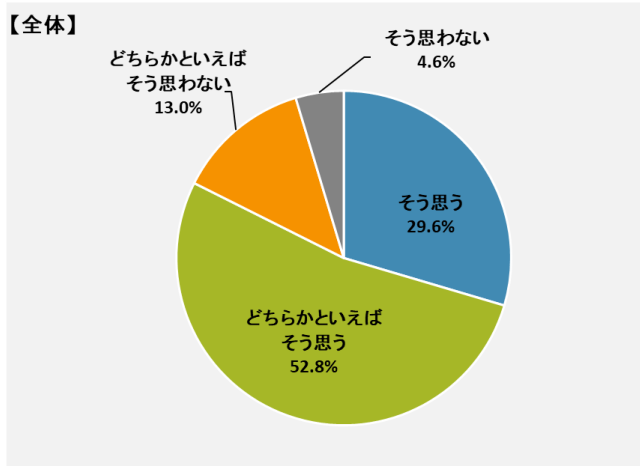
回答数 818



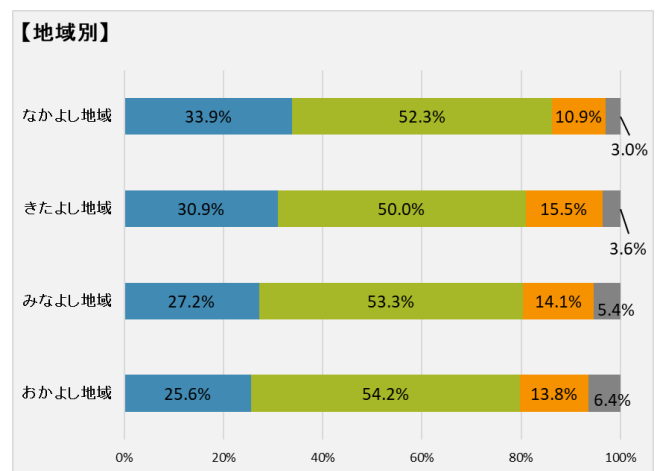
全体では「今後も住み続けたい」が53.2%、「どちらかといえば住み続けたい」が38.5%と、約9割の人が“住み続けたい”と評価しています。

(3) 愛着や誇りを感じているかについて

回答数 818



全体では「どちらかといえばそう思う」が 52.8%と最も多く、次いで「そう思う」が 29.6%と、約8割の人が“愛着や誇りがある”と評価しています。



(1)から(3)の回答に対する自由意見(抜粋)

【良い点】	【良くない点】
<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く静か ・災害が少ない ・治安が良い ・さんさんバス等、交通機関も充実している ・街並みがきれい ・名古屋も豊田も近く便利 ・財政が豊か ・地域との繋がり、人情味がある ・都会すぎず、田舎すぎず ちょうどいい環境 ・楽しいお祭りが多くある 	<ul style="list-style-type: none"> ・老後の施設やサービスが不安 ・公共交通の利便性が悪い ・車がないと暮らせない ・お店が少ないので楽しめない ・駅前の活気がない ・観光地がない

3 取組分野別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、各取組分野の満足度・重要度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価点をつけて、回答者による平均点を算出し評価指標としました。

基本目標	施策(取組方針)	取組分野
1 安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	①子育て支援 ②家庭教育 ③子育て環境
	心豊かな子どもを育てよう	①小中学校教育 ②青少年健全育成
	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	①生涯学習 ②文化・芸術 ③広域交流 ④多文化交流 ⑤男女共同参画
2 健康で生き生きと暮らせるまち	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	①地域福祉 ②高齢者福祉 ③介護 ④障がい者福祉
	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	①地域医療 ②健康づくり ③スポーツ ④生きがい・働きがい
3 安全で安心して暮らせるまち	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう	①防災・減災 ②消防
	交通事故や犯罪のないまちをつくろう	①交通安全 ②防犯
4 魅力と活力があふれるまち	工業のさらなる成長を支えよう	①工業
	まちのにぎわいや魅力を生み出そう	①商業 ②観光・魅力発信 ③地域活力
	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう	①農業 ②地産地消
5 自然環境を守り未来へつなぐまち	緑を守り育て、まちを美しくしよう	①緑のまちづくり ②環境美化
	環境にやさしいまちにしよう	①地球環境の保全 ②循環型社会
6 快適で暮らしやすいまち	生活の基盤が整ったまちをつくろう	①土地利用 ②河川 ③下水道
	便利で快適な住環境をつくろう	①公共交通 ②道路 ③市街地整備 ④景観

	多様な世代の定住・移住を促進しよう	①住まい ②雇用対策
まちづくりの進め方	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり	①市民参画と協働によるまちづくり
	透明性の高い開かれた市政	①行政情報の公開 ②広報・広聴
	効果的・効率的で安定した行財政運営	①行政組織 ②行政改革・行政評価 ③広域連携の推進 ④財政

満足度	点数
満足	5点
やや満足	4点
普通	3点
やや不満	2点
不満	1点

重要度	点数
重要	5点
やや重要	4点
普通	3点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点

(1) 取組分野別満足度・重要度について

取組分野別満足度の平均点は 3.379 点、重要度の平均点は 3.979 点でした。
満足度及び重要度の上位と下位の項目は次のとおりです。

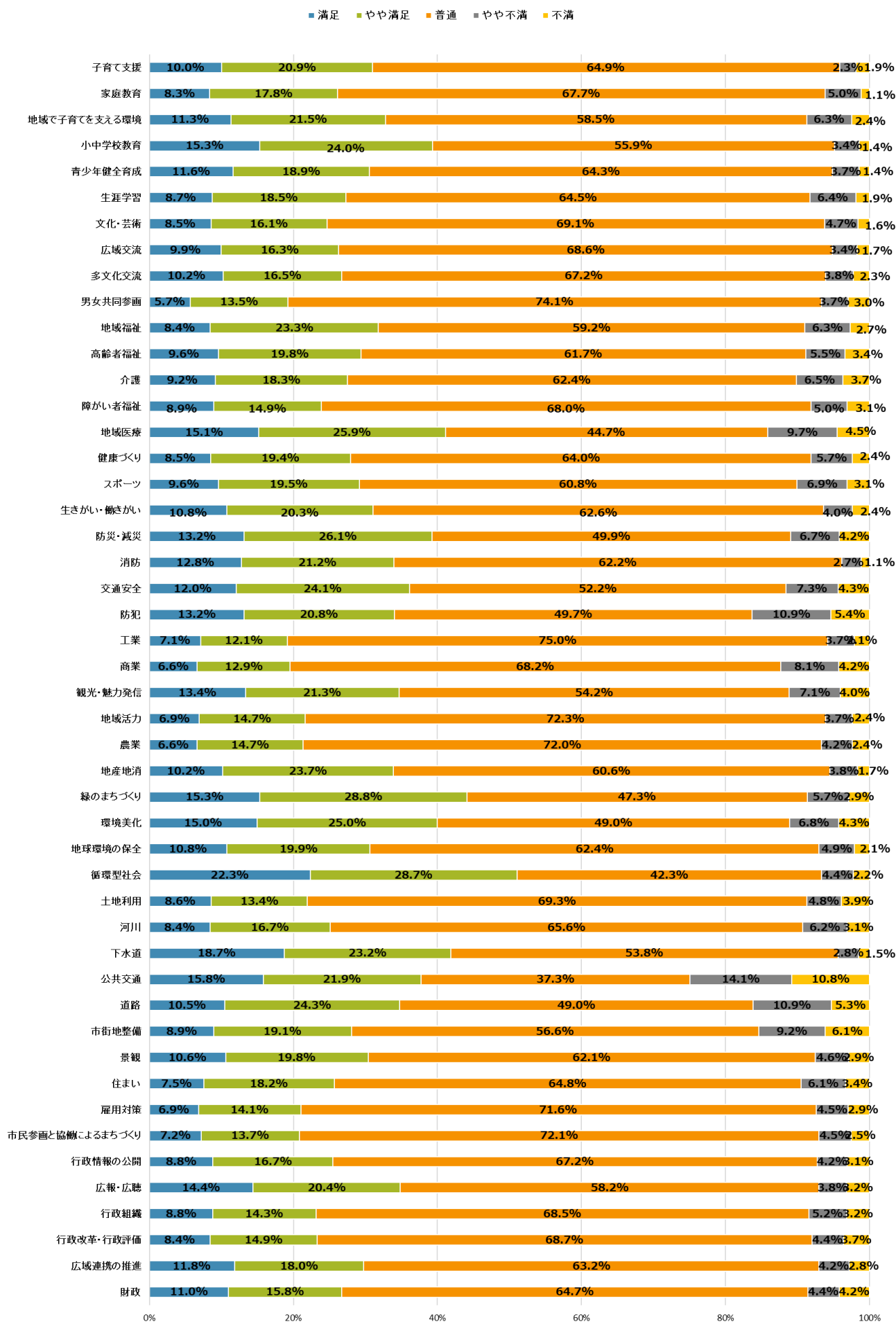
【満足度】

1位	循環型社会(3.787)	44位	市民参画と協働によるまちづくり(3.235)
2位	小中学校教育(3.694)	45位	男女共同参画(3.227)
3位	子育て支援(3.673)	46位	雇用対策(3.194)
4位	下水道(3.665)	47位	市街地整備(3.174)
5位	消防(3.553)	48位	商業(3.145)

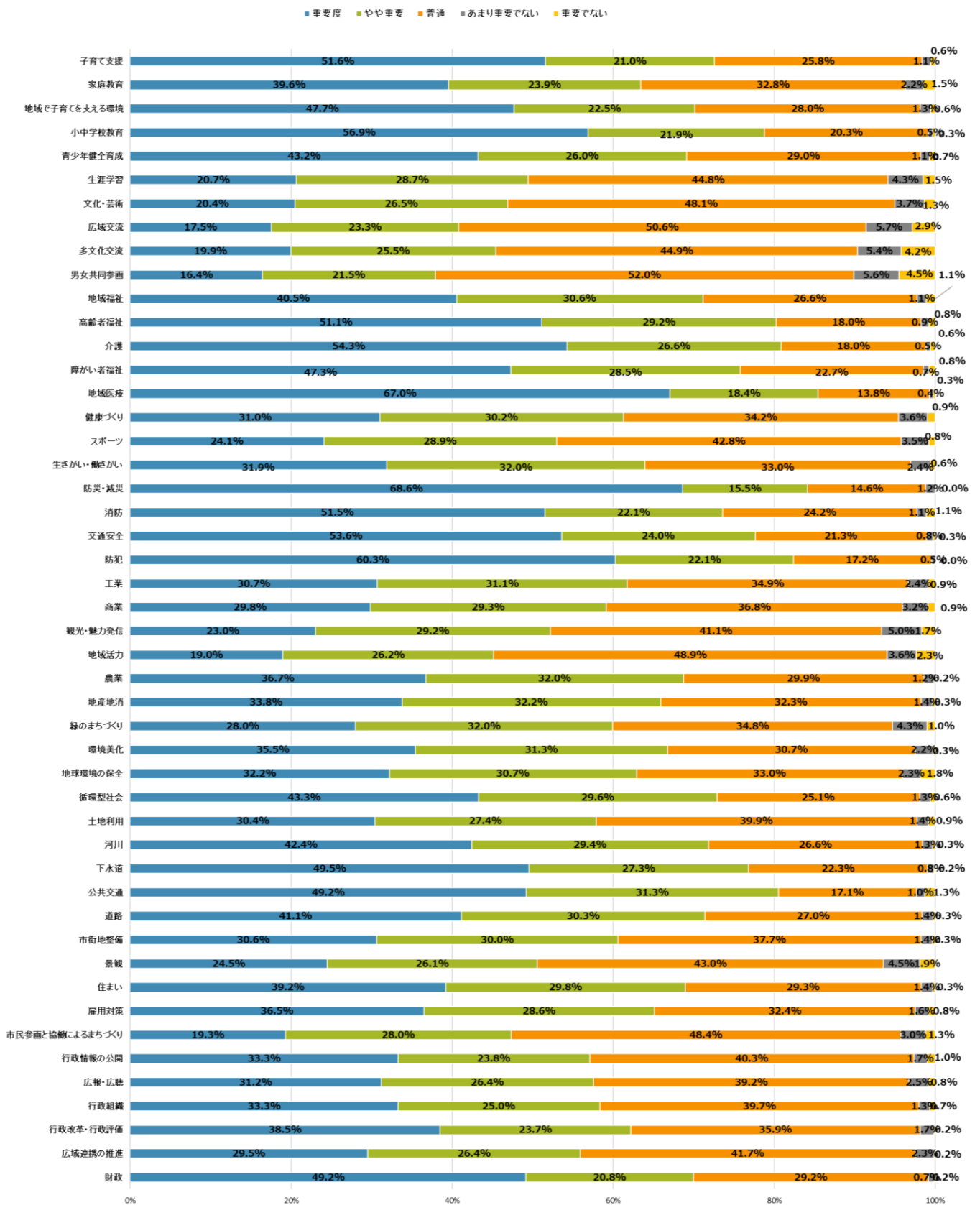
【重要度】

1位	防災・減災(4.516)	44位	文化・芸術(3.610)
2位	地域医療(4.514)	45位	地域活力(3.558)
3位	防犯(4.422)	46位	多文化交流(3.515)
4位	小中学校教育(4.345)	47位	広域交流(3.469)
5位	介護(4.334)	48位	男女共同参画(3.397)

【取組分野別の満足度グラフ】

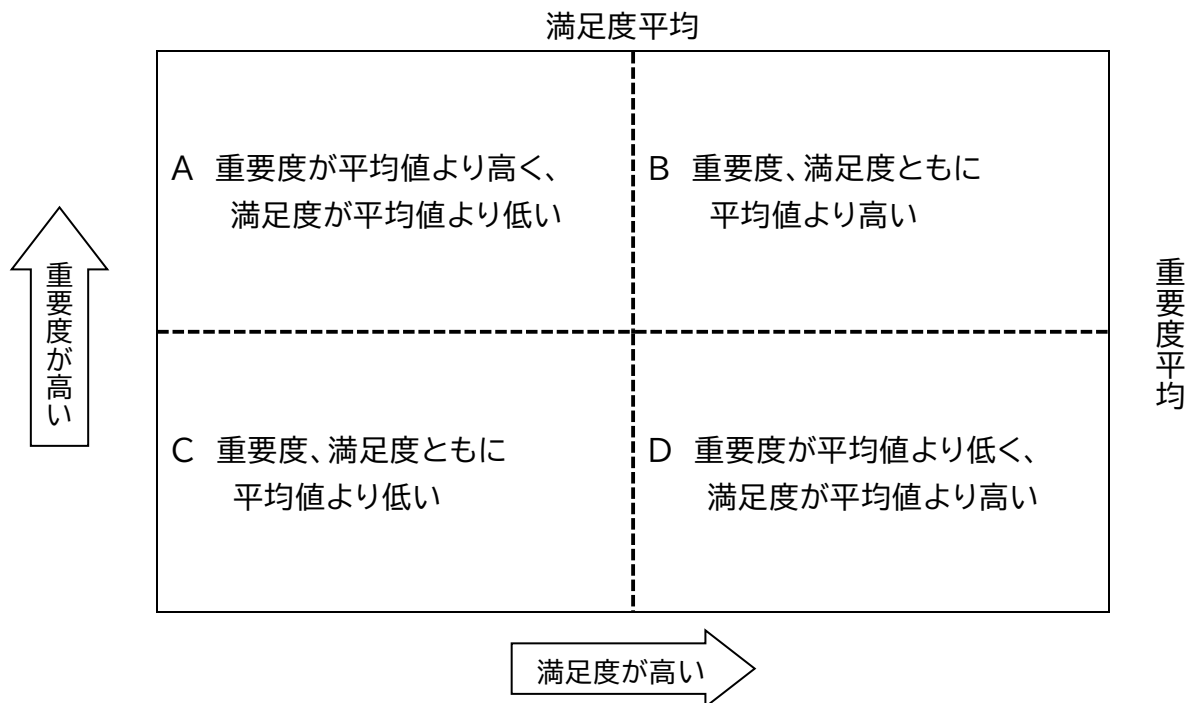


【取組分野別の重要度グラフ】

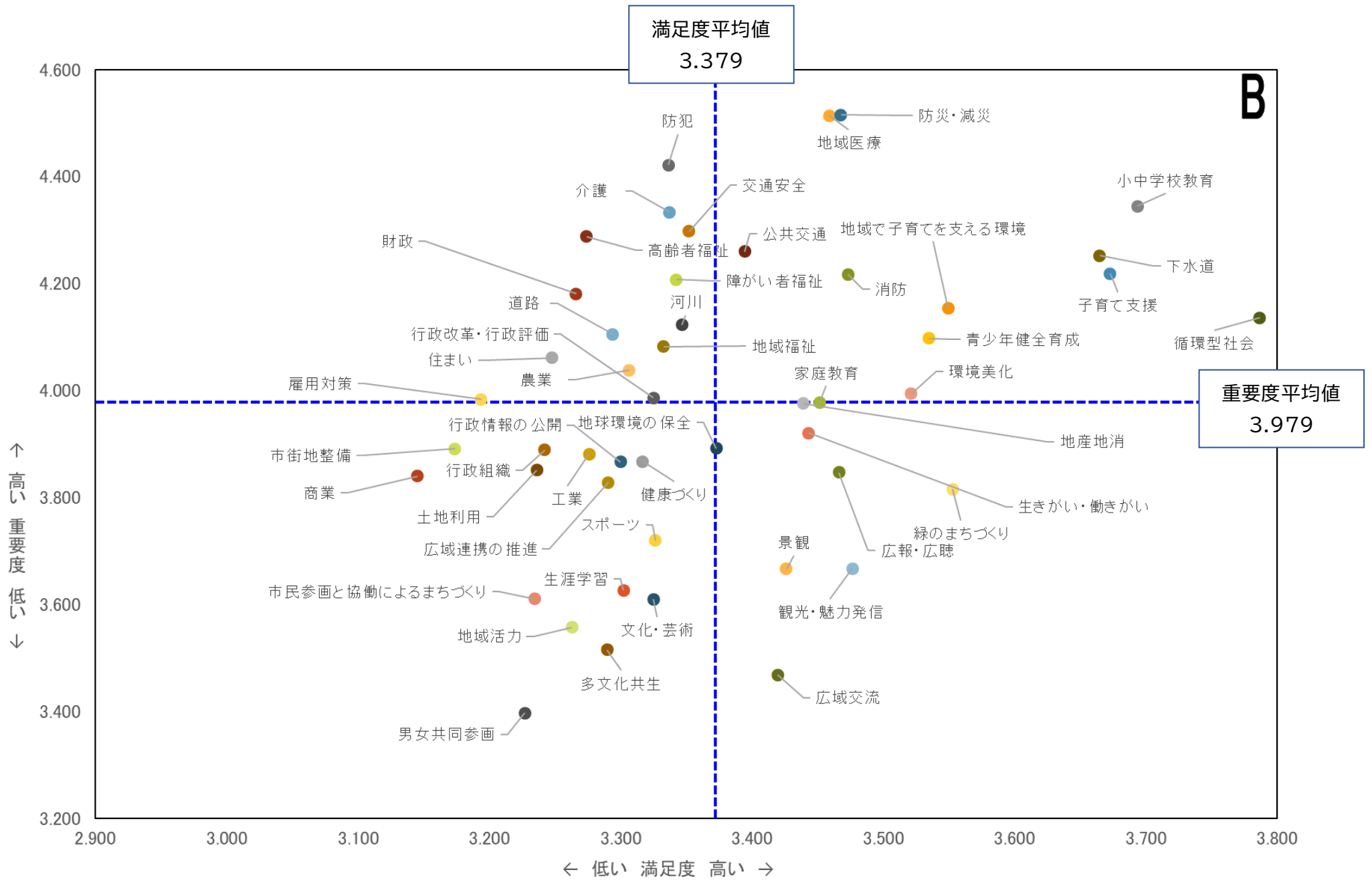


(2) 満足度、重要度の平均値散布図による分析(満足度・重要度の散布図を参照)

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



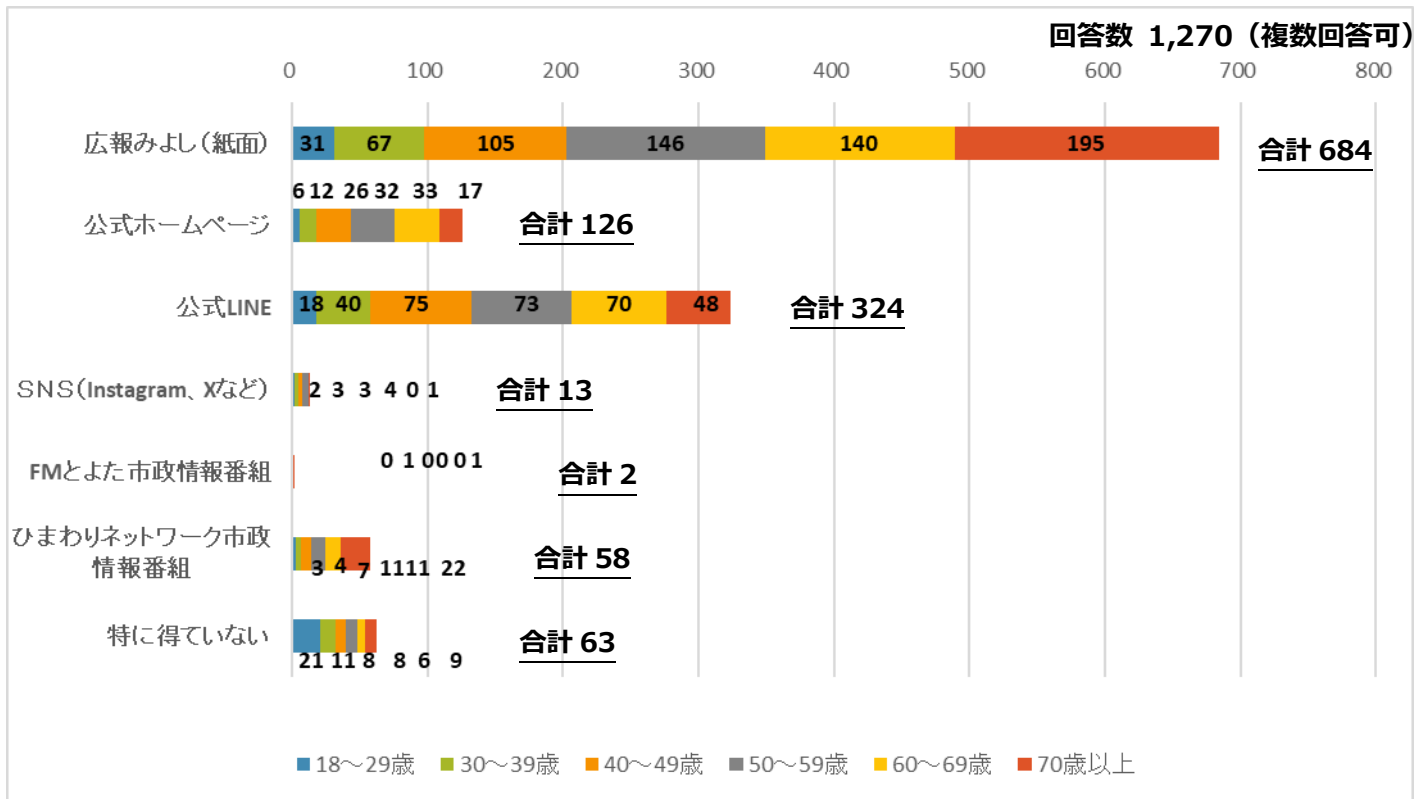
Aの領域	・取組の必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実が求められていると考えられます。このため <u>従来の取組に改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目</u> としてとらえることができます。
Bの領域	・取組の必要性は十分認識され、その取組にも満足されているものと考えられます。このため <u>今後も現在の水準を維持していく項目</u> としてとらえることができます。
Cの領域	・取組に対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、 <u>今後取組の見直しなどを検討する必要がある項目</u> としてとらえることができます。
Dの領域	・取組の必要性は低いが、満足されているものと考えられます。 <u>今後も現状のまま保つ維持項目</u> としてとらえることができます。



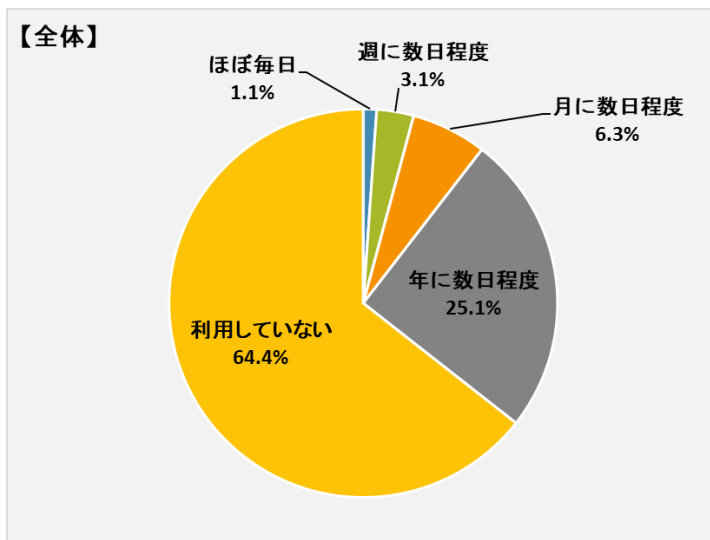
4 その他アンケート集計結果

(1) 市政に関する情報の取得手段について

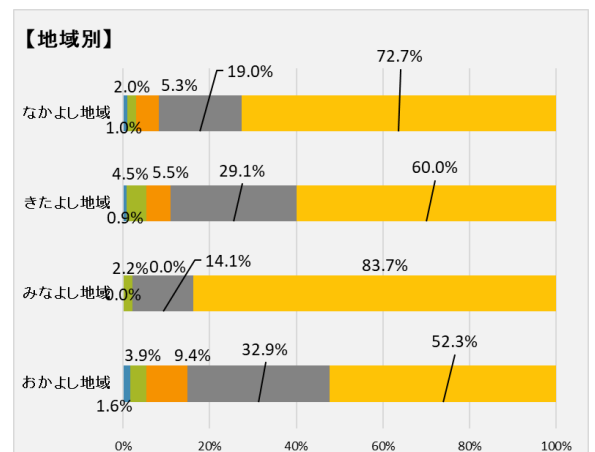
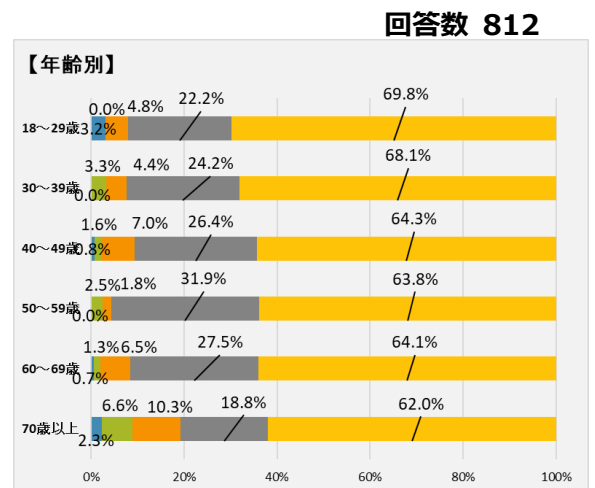
市政に関する情報の取得手段については、広報みよし(紙面)が最も多く684件(約54%)で、ついで公式LINE324件(約26%)、公式ホームページ126件(約10%)となっています。



(2) さんさんバスの利用頻度について

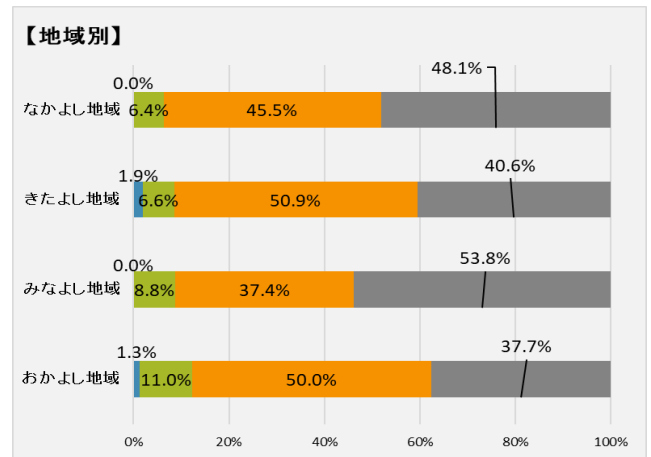
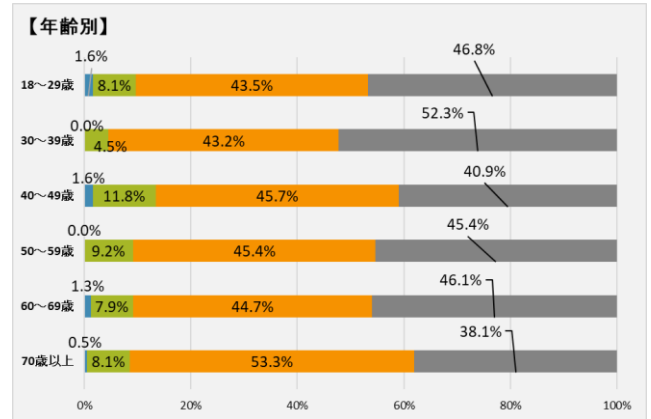
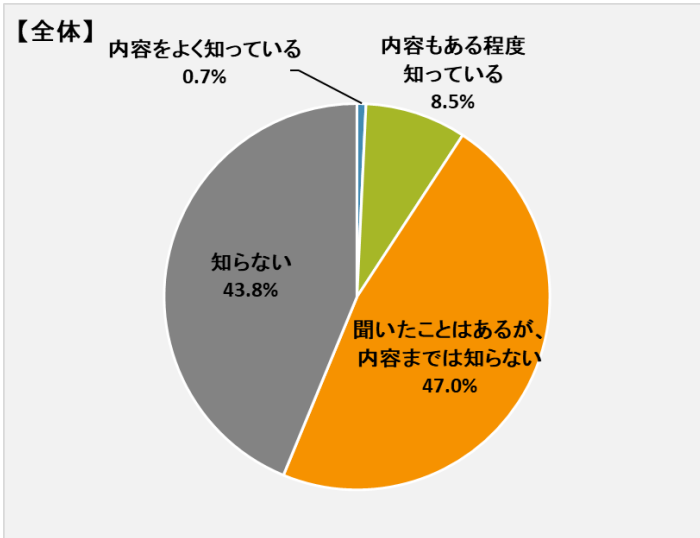


さんさんバスを利用すると答えた289人のうち、ほぼ毎日利用する人は約3.1%、週に数日程度の人約8.7%、月に数日程度の人約17.6%、年に数日程度の人約70.6%でした。



(3) 地域共生社会について

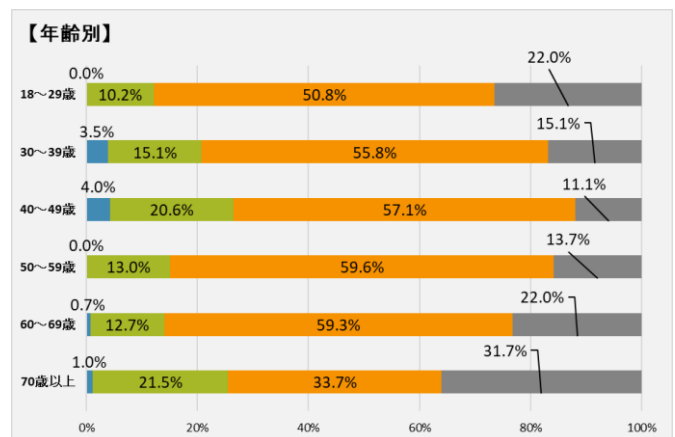
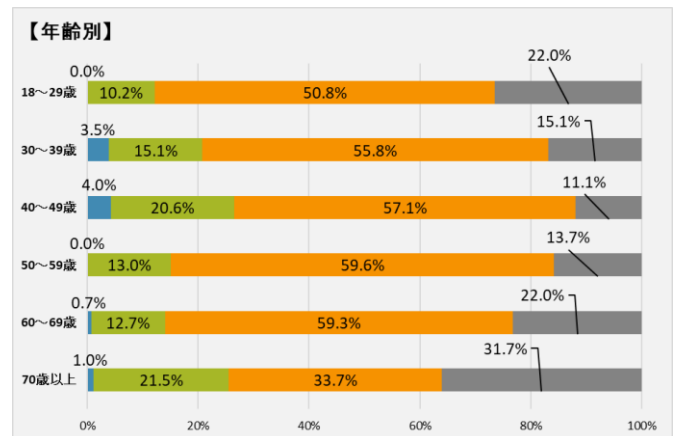
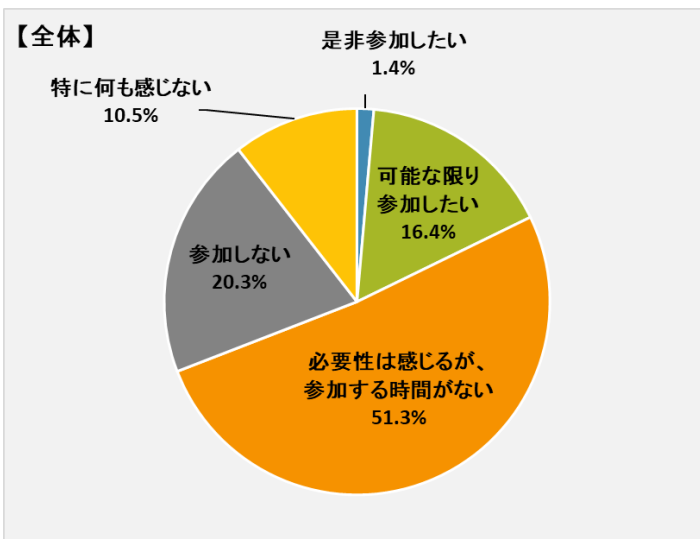
回答数 802



「聞いたことはあるが、内容までは知らない」「知らない」と回答した人は全体の約9割を占めました。「内容をよく知っている」「内容もある程度知っている」と回答した人は9.2%でした。

(4) 地域社会で支える子育て・介護の環境づくりの枠組みに参加することについて

回答数 787

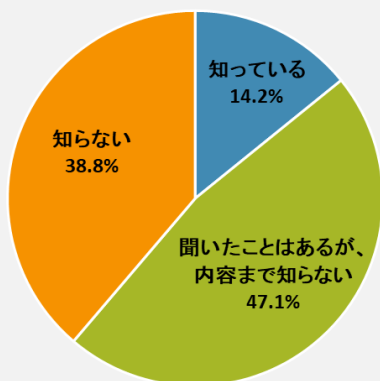


「是非参加したい」「可能な限り参加したい」と回答した人は17.8%でした。「必要性を感じるが参加する時間がない」と回答した人は全体の約半数という結果でした。

(5) 市民憲章について

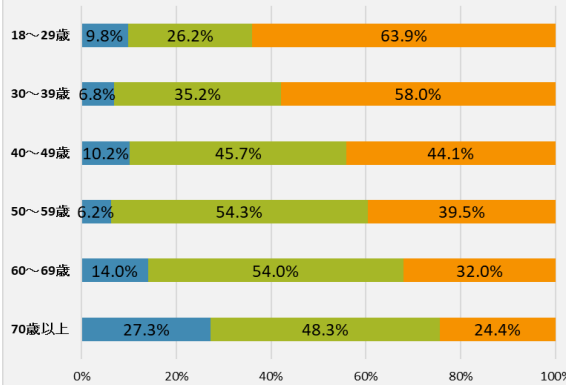
回答数 797

【全体】

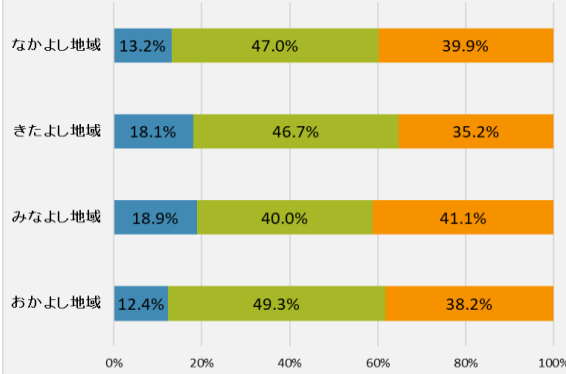


「みよし市民憲章」を聞いたことある(知っている、聞いたことがあるが内容までは知らない)人は 61.3%でした。

【年齢別】



【地域別】

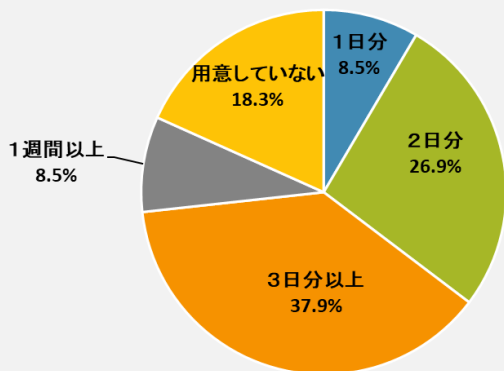


5 防災意識調査について

(1) 大規模地震の発生に備えた食糧や水の備蓄について

回答数 804

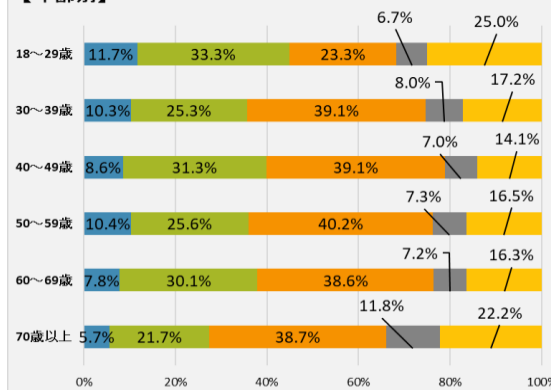
【全体】



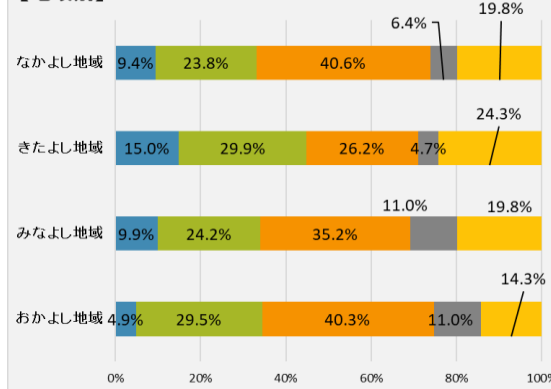
食糧や水の備蓄は3日分以上と答えた方が最も多く、約 38%となっています。



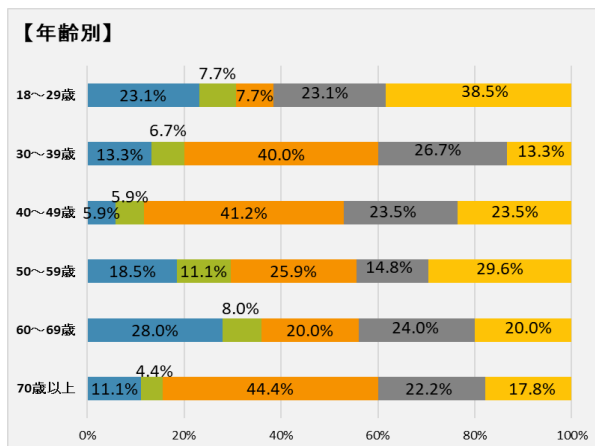
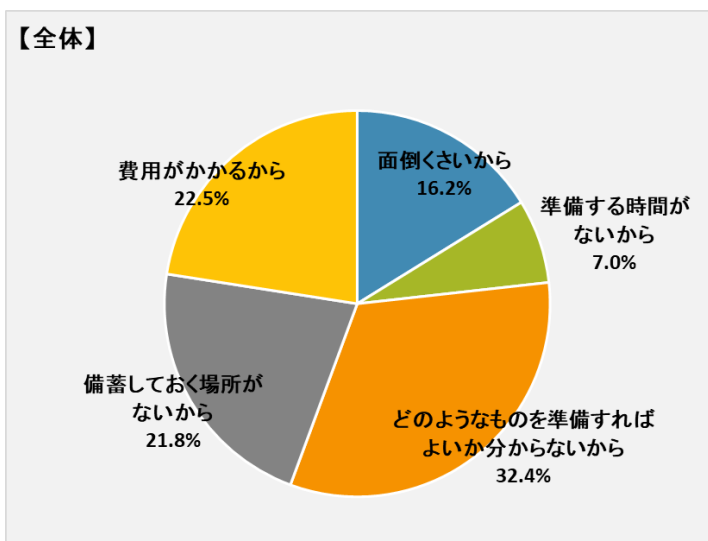
【年齢別】



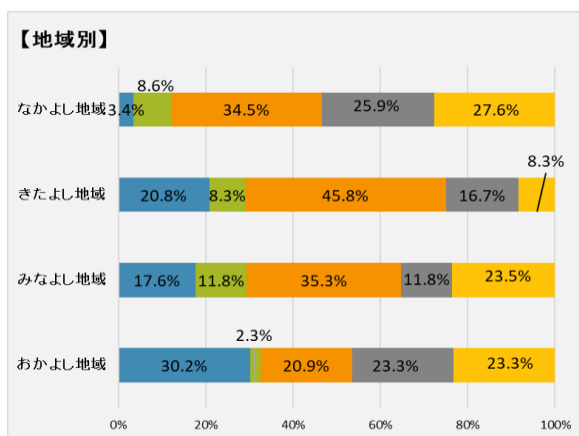
【地域別】



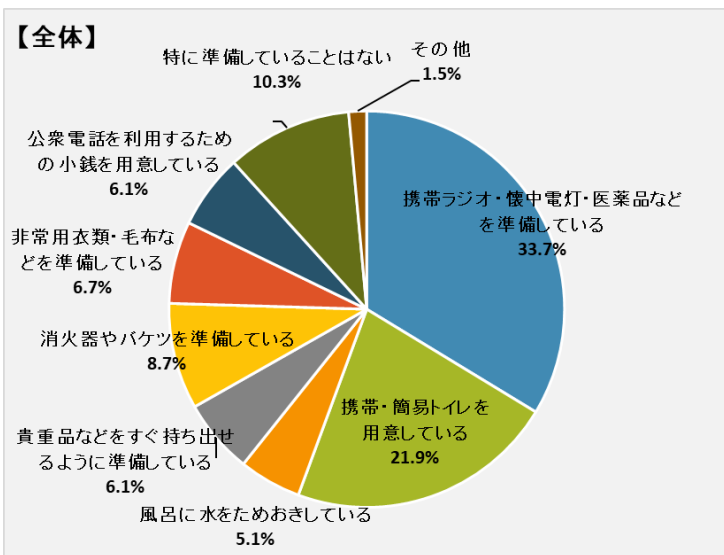
(2) 用意していない理由は次のうちどれですか。(5(1)で用意していないと回答した方) **回答数 142**



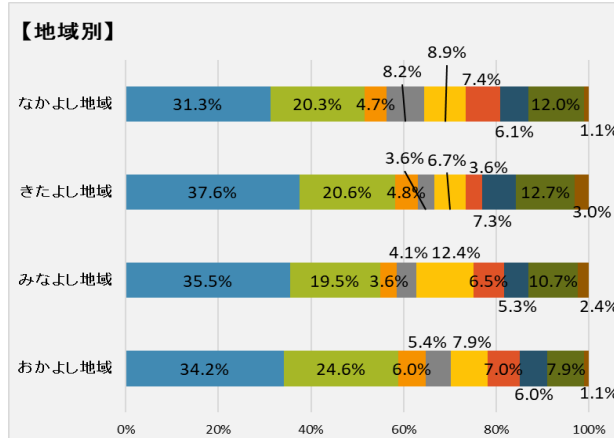
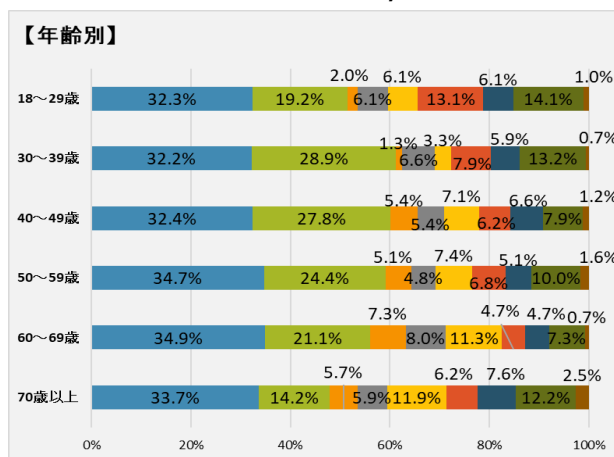
用意していない理由は、どのようなものを準備すればよいか分からない、費用がかかるといった理由が半数を占めています。



(3) 大規模地震の発生に備え日頃から準備しているものについて(食糧・水以外) **回答数 1,431 (複数回答可)**

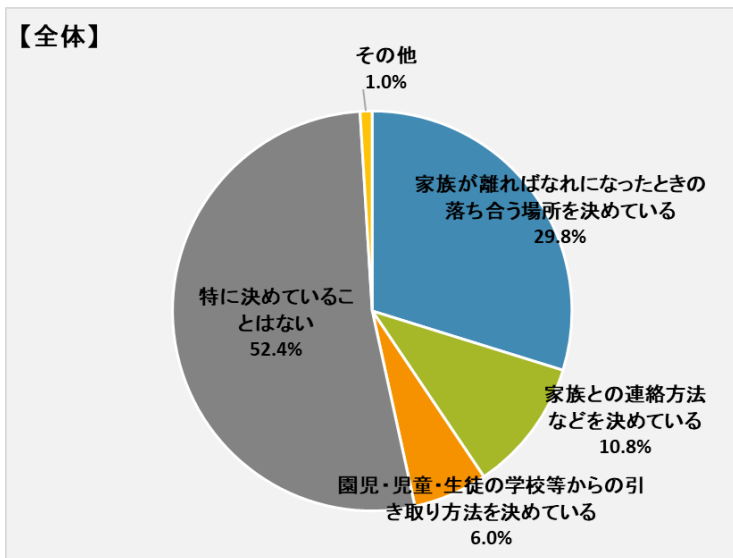


日ごろから準備しているものは、携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などが 33.7%と最も多く、携帯・簡易トイレが 21.9%となっています。



(4) 大規模災害の発生に備えて日頃から決めていることについて

回答数 715



日頃から決めていることは、家族が離ればなれになったときの落ち合う場所を決めているが 29.8%となっています。

